

第7回 小田川合流点付替え事業 環境影響評価フォローアップ委員会

～ 環境巡視結果の概要～

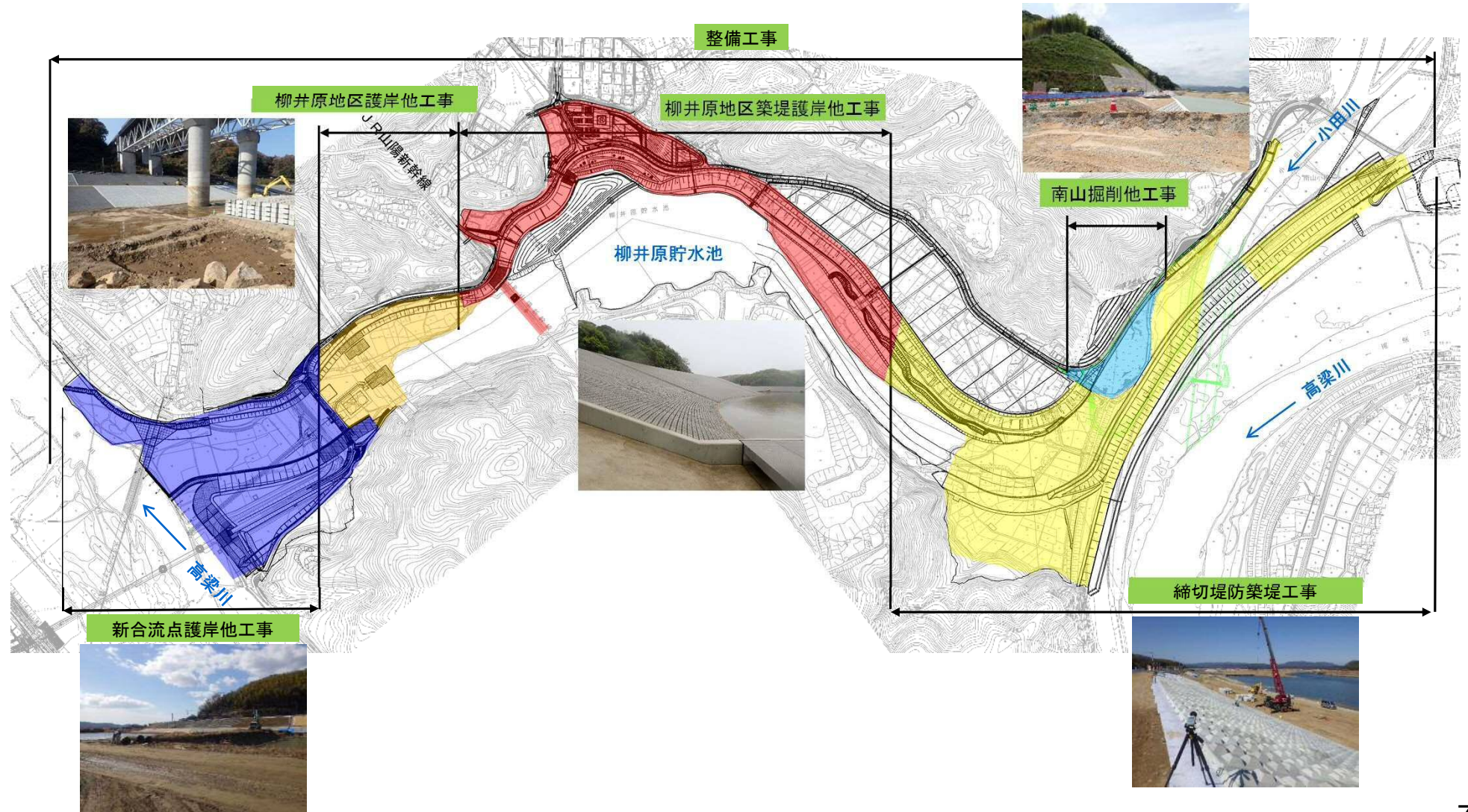
[令和4年9月～令和5年8月]

令和 5年 9月 26日

国土交通省 中国地方整備局
高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所

2.4 令和4年9月～令和5年8月における工事内容

- ◇令和4年9月～令和5年8月の主な工事は、南山掘削、締切堤防築堤工事、新合流点掘削工事・築堤護岸工事等。
- ◇工事内容を踏まえて施工業者とともに環境保全措置等を決定。
- ◇環境巡視では、環境保全措置の実施状況を確認。



2.5 環境巡視の実施概要

1) 調査目的 工事時における環境保全措置等の実施状況の点検・記録

2) 調査内容

調査項目	調査方法
環境保全措置の実施状況	チェックリストを基に、現場で実施状況を確認。 → 必要に応じて工事現場へ指示・助言等のフィードバック。
騒音レベル	積分型普通騒音計による測定。

3) 調査対象工事・調査期間/回数

No.	工事名	令和4年度						令和5年度					調査回数	
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月		8月
1	小田川付替え南山掘削他工事													1回/月
2	令和3年度小田川付替柳井原地区第2築堤他工事													
3	令和3年度小田川付替新合流点護岸他工事													
4	令和3年度小田川付替柳井原地区護岸他工事													
5	令和3年度小田川付替柳井原地区護岸他第2工事													
6	令和3年度小田川付替川辺地区護岸他工事													
7	令和4年度小田川付替整備工事													
8	令和4年度小田川付替締切堤防他工事													
9	令和4年度小田川付替柳井原地区築堤護岸他工事													
10	令和4年度小田川付替新合流点護岸他工事													
11	令和4年度小田川付替柳井原地区築堤護岸他第2工事													
12	令和4年度小田川付替舗装他工事													
13	令和4年度小田川付替締切堤防他第2工事													
14	令和4年度小田川付替川辺地区護岸他工事													
15	令和5年度小田川付替整備工事													
16	令和4年度小田川付替新合流点左岸護岸他工事													
17	令和4年度小田川付替新合流点右岸護岸他工事													
18	令和5年度小田川付替新合流点左岸護岸他工事													
19	令和5年度小田川付替新合流点掘削他工事													
20	令和5年度小田川付替柳井原地区舗装他工事													
21	令和5年度小田川付替酒津地区外護岸工事													

※各月の中で環境負荷が最大となる工事時期に実施

3.1 環境巡視実施日における対象工事の騒音レベル (1/3)

◇騒音について適切に環境保全措置が実施できているかを確認するための目安として、環境巡視実施時に工事作業に伴う騒音レベルを測定。

⇒低騒音型機械の使用等により全ての工事個所で**規制基準値以下**。

⇒一部工事で75dB（動物への影響の参考値）を超過したが、**猛禽類等への影響は確認されなかった**。

No.	工事名	騒音レベル (L _{A5})	稼働重機	工事状況	No.	工事名	騒音レベル (L _{A5})	稼働重機	工事状況
1	南山掘削他工事	57～73dB (3月)	計9台 (3月) バックホウ、ブルドーザー、振動ローラー、重ダンプ、発電機		5	令和3年度小田川付替柳井原地区護岸他第2工事	61～73dB (11月)	計1台 (11月) ラフタークレーン	
2	令和3年度小田川付替柳井原地区第2築堤他工事	60～77dB (9月)	計7台 (9月) バックホウ、ブルドーザー、振動ローラー		6	令和3年度小田川付替川辺地区護岸他工事	64～74dB (2月)	計6台 (2月) バックホウ、ダンプ	
3	令和3年度小田川付替新合流点護岸他工事	62～74dB (12月)	計2台 (12月) バックホウ		7	令和4年度小田川付替整備工事	61dB (9月)	計3台 (9月) バックホウ	
4	令和3年度小田川付替柳井原地区護岸他工事	69～81dB (11月)	計4台 (11月) バックホウ、ブルドーザー、振動ローラー、ブレーカー		8	令和4年度小田川付替締切堤防他工事	66～72dB (1月)	計5台 (1月) バックホウ、ダンプ	

【備考】特定建設作業に伴う騒音の規制基準値：工事敷地境界で85dB

第6回環境影響評価フォローアップ委員会において定められた動物への影響の参考値 (75dB)

3.1 環境巡視実施日における対象工事の騒音レベル (2/3)

No.	工事名	騒音レベル (L_{A5})	稼働重機	工事状況	No.	工事名	騒音レベル (L_{A5})	稼働重機	工事状況
9	令和4年度小田川付替柳井原地区築堤護岸他工事	37~77dB (10月)	計10台 (10月) バックホウ、ブルドーザー、振動ローラー、重ダンプ		13	令和4年度小田川付替締切堤防他第2工事	66~73dB (5月)	計10台(5月) バックホウ、ブルドーザー、ダンプ	
10	令和4年度小田川付替新合流点護岸他工事	57~73dB (11月)	計13台 (11月) バックホウ、ダンプ		14	令和4年度小田川付替川辺地区護岸他工事	64~75dB (5月)	計2台 (5月) バックホウ	
11	令和4年度小田川付替柳井原地区築堤護岸他第2工事	55~74dB (5月)	計6台(5月) バックホウ、ブルドーザー、重ダンプ、ラフタークレーン		15	令和5年度小田川付替整備工事	67~74dB (5月)	計3台 (5月) バックホウ	
12	令和4年度小田川付替舗装他工事	55dB (3月)	計2台 (3月) バックホウ		16	令和4年度小田川付替新合流点左岸護岸他工事	64~67dB (6月)	計8台 (6月) バックホウ、振動ローラー、重ダンプ、ブルドーザー	

【備考】 特定建設作業に伴う騒音の規制基準値：工事敷地境界で85dB

第6回環境影響評価フォローアップ委員会において定められた動物へ影響の参考値 (75dB)

3.1 環境巡視実施日における対象工事の騒音レベル (3/3)

No.	工事名	騒音レベル (L_{A5})	稼働重機	工事状況	No.	工事名	騒音レベル (L_{A5})	稼働重機	工事状況
17	令和4年度小田川付替新合流点右岸護岸他工事	79dB (6月)	計9台 (6月) バックホウ、ラフター クレーン		20	令和5年度小田川付替柳井原地区舗装他工事	71dB (8月)	計5台 (8月) バックホウ	
18	令和5年度小田川付替新合流点左岸護岸他工事	69~76dB (7, 8月)	計7台 (7月) バックホウ、ブル ドーザー、振動 ローラー 計4台 (8月) バックホウ、ブル ドーザー、ダンプ		21	令和5年度小田川付替酒津地区外護岸工事	65dB (8月)	計2台 (8月) バックホウ	
19	令和5年度小田川付替新合流点掘削他工事	69~70dB (7月)	計8台 (7月) バックホウ、ローラー、 ブルドーザー、ダ ンプ						

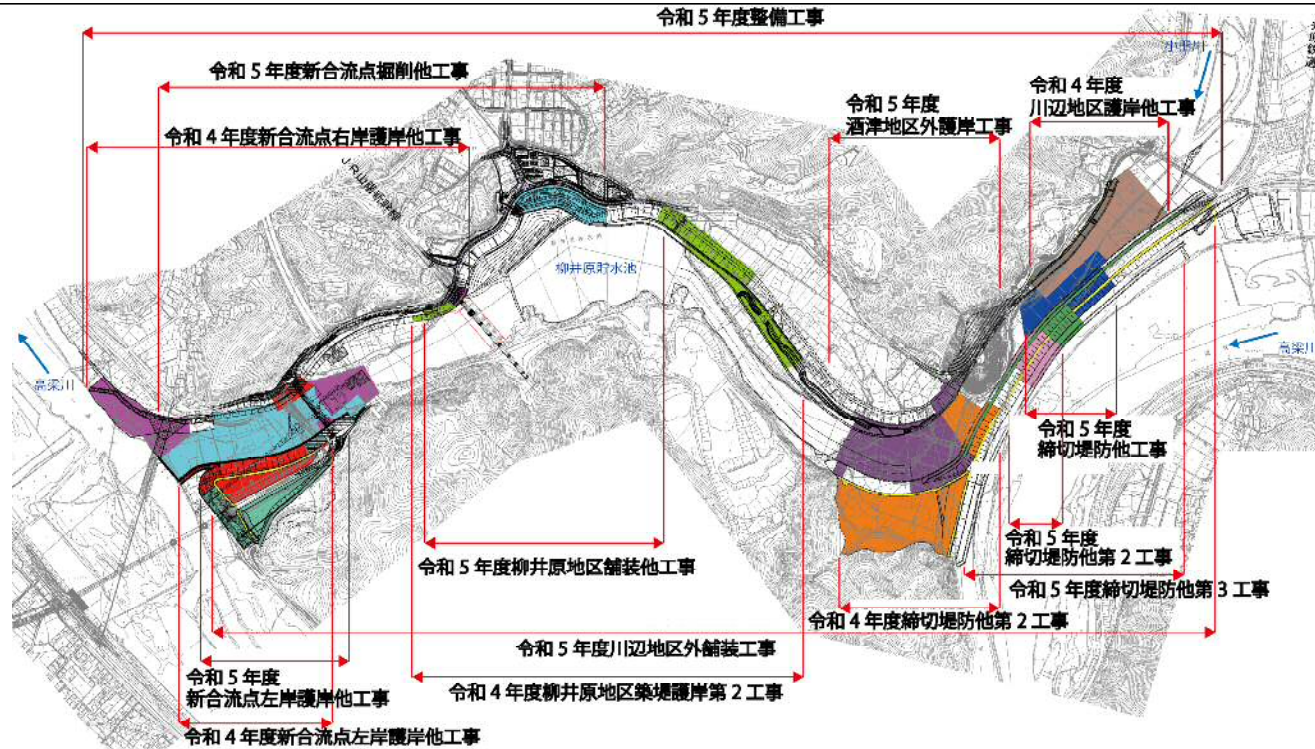
【備考】 特定建設作業に伴う騒音の規制基準値：工事敷地境界で85dB

第6回環境影響評価フォローアップ委員会において定められた動物へ影響の参考値 (75dB)

4.1 次期計画期間中の工事予定（令和5年9月～令和6年3月）

- ◇環境巡視の次期計画期間（令和5年9月～令和6年3月）の主な工事は、締切堤防工事、新合流点工事等である。
- ◇各工事で想定される環境保全措置等は以下のとおりである。

対象とする工事名



想定される環境保全措置等の一覧

環境要素	No	環境保全措置等	対象となる工種等
大気環境	大気質(粉じん等)	1 排出ガス対策型建設機械の採用	建設機械(ブルドーザー、バックホウ等、各施工現場にて工事作業を行う機械)
		2 工事用車両のタイヤの洗浄	施工現場に出入りする車両
		3 散水の実施(集積土・法面)	粉じんの発生源となる集積土や法面
		4 散水の実施(工事用道)	各施工ヤード内の車道
	騒音・振動	5 低騒音・振動型建設機械の採用	建設機械(ブルドーザー、バックホウ等、各施工現場にて工事作業を行う機械)
		6 工事用車両の運行台数の平準化	施工現場に出入りする車両
	大気質・騒音・振動	7 作業方法の改善の実施	施工現場に出入りする車両、建設機械(ブルドーザー等、各施工現場にて工事作業を行う機械)
水環境	8	濁水処理施設等の設置	沈砂池、濁水防止フェンス
動物	猛禽類	9 工事騒音・振動の発生時期の配慮(工事)	猛禽類の繁殖への影響が確認された工事音等の発生箇所
生態系	外来生物	10 外来生物の拡散の防止等	特定外来生物のアレチウリ、オオキンケイギクが確認された施工箇所
景観		11 護岸の覆土	新合流点右岸・左岸の護岸
廃棄物等		12 アスファルト・コンクリート塊の再生利用	アスファルト・コンクリート塊の発生する全工種
		13 伐採木の再生利用	伐採木が発生する全工種